

情 報 公 開 文 書

研究の名称	下部消化管穿孔に対する緊急手術患者における Post Induction Hypotension (PIH)の関連因子を調査する多施設後向き観察研究
研究代表機関	富山大学附属病院 麻酔科学講座・教授 高澤知規
研究機関の名称	京都市立病院
①試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	この研究は富山大学臨床・疫学研究等に関する倫理審査委員会の承認および研究機関の長の許可を受けて実施しています。 【研究の目的・方法】 下部消化管穿孔（結腸に穴があく状態）によるショック状態の患者さんへの麻酔は、急速に状態が悪化する可能性が高く、麻酔科医にとって大きな課題です。しかし、最適な麻酔方法に関するエビデンスは限られています。 そこで本研究では、麻酔導入薬が血圧に与える影響を評価し、重症患者さんにおける適切な導入薬選択に役立つエビデンスを得ることを目的として、多施設共同の後方視研究（カルテデータを用いた研究）を実施します。 【研究期間】 2026 年 5 月 21 日 ～ 2029 年 3 月 31 日 【研究対象者】 2022 年 4 月 1 日～2025 年 10 月 31 日の期間に、当院ならびに本研究の各共同研究機関において下部消化管穿孔に対して緊急で手術を受けた 20 歳以上の患者さんを対象とします。 【個人情報の取扱い】 本研究では、電子カルテおよび麻酔記録よりデータを抽出します。患者さんの氏名、診療録 ID 等、個人を特定できるような情報は用いず、代わりにこの研究用の識別番号をつけることで、個人を特定できないように加工します。加工された情報および、研究用識別番号と診療録 ID との対応表は、施錠により特定のスタッフ以外アクセスできない状態で、研究責任者が保管・管理します。本研究に関する情報等は研究結果の最終公表後、復元不可能な形で廃棄します。 【研究結果の公表の方法】 学術集会での報告や、論文として公表することを予定しています。
②利用する者の範囲	別紙「共同研究機関一覧」をご参照ください。
③お問い合わせ先	研究対象者に関する試料・情報の研究利用（他の研究機関への提供を含む）について、拒否を希望される場合、または研究資料（研究計画書および研究方法に関する資料）の入手・閲覧を希望される場合は、下記の窓口へお申し出ください。なお、入手・閲覧は、他の研究対象者の個人情報および知的財産権の保護に配慮した範囲で対応いたします。 電話番号：075-311-5311 研究責任者：京都市立病院 麻酔科 篠原洋美